

学金連携システム研究会 ～2011年活動実績と今後～

産学連携学会学金連携システム研究会 小野浩幸¹、石塚悟史²、伊藤正実³、○内島典子⁴、大塩誠二⁵、加藤博良^{1,6}、川崎一正⁷、川名優孝⁸、北村寿宏⁹、城野理佳子¹⁰、鞘師守⁴、塩川真澄¹¹、白澤司朗¹²、高澤由美¹、田口幹¹³、丹治惣兵衛¹⁴、野瀬真治^{15,16}、藤原貴典¹⁵、森川茂弘¹⁷、矢島治夫¹⁸、山村正明¹⁰、渡辺裕^{1,12} (山形大学¹、高知大学²、群馬大学³、北見工業大学⁴、徳島大学⁵、米沢信用金庫⁶、新潟大学⁷、東京海洋大学⁸、島根大学⁹、北海道大学¹⁰、芝浦工業大学¹¹、荘内銀行¹²、電気通信大学¹³、福島大学¹⁴、岡山大学¹⁵、トマト銀行¹⁶、秋田大学¹⁷、工学院大学¹⁸、宇都宮大学¹⁹)

1. はじめに

近年、各省庁や連携の現場において、「産学官金連携」に対する関心が高まってきている。地域の産学連携を推進するプレイヤーとして金融機関の存在が注目され、学金連携の取り組みは、地方およびその地域性により様々に展開されている。

学金連携システム研究会はこのような背景を受け、各地での大学と金融機関との連携活動事例を集約し、状況の把握及び分析、モデル化ならびに学・金の双方の本体業務にメリットをもたらすためのシステム化のあり方の検討を通じて、学金連携のより効果的な推進に貢献することを目的として、2008年9月に発足した。2011年3月末現在、本研究会は22名(19機関)で構成されている(図1.)。



図1. 学金連携システム研究会会員構成

2. 2011年度の活動

	活動概要	内容
1	第6回研究会開催 日程：平成23年6月15日(木) 15:00～17:00 会場：佐賀市アバンセ 第4研修室	・講演会実施 「平成22年度東北経済産業局 産学官金連携調査結果の概要について」 講師：株式会社大和総研 産学連携室 大澤秀一氏 ・参加者によるディスカッション
2	第7回研究会開催 日程：平成23年9月21日(木) 15:00～18:00 会場：東京海洋大学越中島キャンパス 越中島会館2階SCS講義室	・講演会実施 「リレーションシップバンキング(地域密着型金融)についての考え方」 講師：アビームコンサルティング株式会社 扇間 多胡秀人氏 ・参加者によるディスカッション
3	産学連携学会第9回大会 日程：平成23年6月16日(木)～17日(金) 会場：佐賀市アバンセ	・研究会活動をパネル発表 ・研究会会員による一般講演3件、ポスターセッション1件の発表
4	研究会活動の発表 日程：平成23年8月26日(金) 会場：経済産業省経済産業研修所	・経済産業省「地域金融機関と中小企業支援施策の連携強化に関する研究会」において、研究会活動並びに全国アンケート調査実施結果の概要を発表

3. まとめ・今後

研究会の活動については、研究会ホームページ (<http://www.sgrk.shimane-u.ac.jp/GKRR/>) にて情報の公開および会員向け資料情報の提供を行っている。

これまでに、全国の国立大学法人及び金融機関を対象とした実態アンケート調査を実施するとともに、会員の所属地域において、大学および金融機関との連携内容に独自性が生まれていることなどが、研究会活動の中で明確となっている。^{1)～4)、他}

現在、地域産業振興施策として「産学官金連携」に対し各方面から関心が高まる中で、その理解は、表層的なものに留まっているきらいがある。今後、本研究会会員増大を図り、事例の充実、その後のモデル化、システム化にむけて検討を進めていく必要がある。

1) 高澤由美、小野浩幸「学金連携の実態に関する基礎的研究」産学連携学、Vol.6、No.2、p33～p43 (2010.5)

2) 第9回産学連携学会(佐賀大会) 0617B1515-3 グローバル時代における地域産学金連携の取り組み 渡辺 裕、他2名(山形大学)

3) 第9回産学連携学会(佐賀大会) 0617C1445-4 金融機関収益モデルとしての地域密着型金融の可能性と産学金連携の課題 小野浩幸、他2名(山形大学)

4) 第9回産学連携学会(佐賀大会) 0617C1445-5 経済産業省事業を活用した「産学官金連携システム米沢モデル」の構築と展望 加藤博良、他3名(山形大学)